

Minami Kyushu University Syllabus						
シラバス年度	2023年度	園芸キャンパス		都城キャンパス		
科目名称	環境保全園芸学特論Ⅱ			実務経験		Active・L ○
科目コード	642311	単位数	2単位	学位授与方針との関連	DP1	
教員氏名	山口 健一					
授業概要	21世紀は環境の時代と言われているが、園芸植物の生産においても環境と調和した持続可能な循環型栽培システムを確立することが求められている。本授業では、世界の園芸植物の栽培における環境上の問題点を深く理解するとともに、環境に配慮した土づくり、施肥、病害虫・雑草防除、リサイクルについて高度な知識を習得することを目的とする。					
関連する科目	履修前：環境保全園芸学特Ⅰ					
授業の方法と進め方	提示する専門書あるいは学術論文について、教員が講義するとともに、受講生間で随時討議を行う。					
授業計画	<p>01. 講義の内容と進め方 授業計画について説明する。</p> <p>02. 世界の園芸生産と自然環境 園芸生産の特徴と環境に及ぼす影響について解説する。</p> <p>03. 世界の野菜園芸における環境上の問題点〔1〕 野菜の露地栽培の特徴と環境に及ぼす影響を学ぶ。</p> <p>04. 世界の野菜園芸における環境上の問題点〔2〕 野菜の施設栽培の特徴と環境に及ぼす影響を学ぶ。</p> <p>05. 世界の野菜栽培における環境保全技術 野菜園芸生産における高度技術の実践例を解説する。</p> <p>06. 授粉用外来昆虫の環境リスク（海外状況） 生物機能利用上の留意点を解説する。</p> <p>07. 世界の果樹園芸における環境上の問題点〔1〕 温帯果樹栽培の特徴と環境に及ぼす影響を学ぶ。</p> <p>08. 世界の果樹園芸における環境上の問題点〔2〕 熱帯・亜熱帯果樹栽培の特徴と環境に及ぼす影響を学ぶ。</p> <p>09. 世界の果樹栽培における環境保全技術 世界の果樹園芸生産における高度技術の実践例を解説する。</p> <p>10. 地球温暖化が果樹園芸に及ぼす影響（海外状況） 地球温暖化の現状と果樹栽培への影響を解説する。</p> <p>11. 世界の花卉園芸における環境上の問題点 花き類栽培の特徴と環境に及ぼす影響を学ぶ。</p> <p>12. 世界の花卉栽培における環境保全技術 花卉園芸生産における高度技術の実践例を解説する。</p> <p>13. 園芸資材のリサイクル（海外状況） 野菜・果樹・花卉園芸生産から排出される廃資材の現状を解説する。</p> <p>14. 園芸植物と外来生物法（海外状況） 外来生物防止法と園芸生産に及ぼす影響を解説する。</p> <p>15. 総括 本授業の全体を振り返り纏めを行う。</p>					
授業の達成目標	世界の野菜、果樹、花卉など園芸植物生産における環境上の問題を深く理解し、自然生態系の仕組みを踏まえた適切な植物栽培を実践できる高度な知識を得る。					
授業時間外の学修	次回の授業項目をアナウンスするので、図書室等を利用して各自で予習する。（30分程度） 授業ノートおよび配布資料を参考に、受講生各自で毎回復習する。（1時間程度）					
課題に対するフィードバック	授業内で出た質問等については、捕捉および理由を付して受講生間で共有する。	評価方法・基準		専門的知識の理解度・習熟度で判定する（100点）。		
テキスト	特に定めないが、関連資料を都度配布する。					
参考書	参考図書やデータ集を適宜紹介する。					
備考						